



# 環境に配慮した 船舶の寄港の促進を図る インセンティブ制度



2026年(令和8年)1月改定

横浜市港湾局



0. はじめに (P. 3)

1. 制度概要

- (1) 制度一覧 (P. 3)
- (2) 手続きの流れ (P. 3)

2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

- (1) ESI及びグリーンアワード (P. 4)
- (2) LNG燃料船 (P. 7)
- (3) LNGバンカリング船 (P.12)
- (4) メタノール燃料船 (P.14)
- (5) バイオ燃料使用船 (P.19)

3. 参考資料

- (1) NACCSによる減免申請の流れ (P.22)
- (2) NACCS減免申請における入港料減免理由コード一覧 (P.26)

4. お問い合わせ先 (P.27)

# 0. はじめに

横浜市は、横浜港の国際競争力の強化及び港湾・海運の脱炭素化の取組を推進するため、環境に配慮した船舶の寄港の促進を図るインセンティブ制度を運用しています。

## 1. 制度概要




### (1) 制度一覧

	減免する事由	減免額		減免開始日時
		入港料	岸壁使用料	
1	ESI制度※対象船舶でスコア30以上の船舶及びグリーンアワード財団の認証船舶	15%相当額	—	2017年4月1日
2	LNG燃料船 (ただし、LNG運搬船は対象外)	全額	—	2021年4月1日
3	LNGバンカリング船 (LNG以外の燃料供給も可能な船舶)	全額	全額 (75%相当額)	2021年4月1日
4	メタノール燃料船	全額	—	2026年1月1日
5	横浜港において混合比率24%以上のバイオ燃料混合油を300トン以上補油した船舶 (バイオ燃料使用船)	全額	—	2026年1月1日

※IAPH（国際港湾協会）が運営するEnvironmental Ship Index制度の略

### (2) 手続きの流れ

上記の制度のうち「5. バイオ燃料使用船」だけが申請手続きにあたりバンカーデリバリーレシート（ノート）（略称：BDR(N)）を必要とします。BDR(N)の入手方法については、申請者様にて本船を含む関係者と事前のご確認をお願いいたします。

時系列 提出書類	入港時	バンカリング時	出港時
			
制度5の場合 (バイオ燃料使用船)	<div>入港届</div>	【BDR(N)入手方法の一例】 <div>減免申請 + データ BDR(N)</div> <div>本船側船舶代理店が横浜港システムへ入力</div>	
制度1～4の場合	<div>入港届</div> <div>減免申請 + Evidence</div>		

※BDR(N)・・・Bunker Delivery Receipt (Note)、バンカーデリバリーレシート（ノート）

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (1) ESIスコア30以上及びグリーンアワード財団認証船

#### 1. 減免の対象（①・②共に船種は問いません。）

- ①IAPHが運営するESIスコアが30以上で横浜港に入港する外航船
- ②グリーンアワード財団の認証を取得した横浜港に入港する外航船

#### 2. 減免額

入港料15%相当額

#### 3. 必要書類

- ①入港料減免申請書
- ②ESI、グリーンアワード共に制度運営者が発行するCertificate（証書）の写し  
※Certificate（証書）は申請の**都度**提出が必要です。

#### 4. 書類提出時期・申請者・申請方法

- ・提出時期 入港届と併せてご提出ください。
- ・申請者 船社または代理店
- ・申請方法 NACCS経由またはFAX等にてご提出ください  
FAXの場合は、横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所（045-621-9048）までお願いします。

#### 5. 他のインセンティブと重複した場合

重複適用（上乗せ）します。ただし、100%を超える減免は実施しません。

#### 6. 注意事項

- ・認証期間を過ぎた証書（Certificate）では減免できません（基準は日本時間）。
- ・第一調定日（毎月第三営業日）までに、所定の必要書類を必ずご提出ください。  
※調定日を含む手続きに関してご不明な点がございましたら、横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所（045-621-9777）までご連絡ください。

#### ※計算例



■ 横浜港に入港した外航船 A  
総トン数 90,000トン E S I スコア 32.0

##### 外航船 A への減免（入港料）

減免前 90,000トン×2.7円 = 243,000円  
減免額 243,000円×15% = 36,450円  
支払額 243,000円 - 36,450円 = 206,550円

■ 京浜 3 港に入港した外航船 B  
総トン数 40,000トン E S I スコア 32.0  
グリーンアワード財団認証取得

##### 外航船 B への減免（入港料）

減免前 40,000トン×2.7円 = 108,000円  
減免額（3港） 108,000円×2/3 = 72,000円  
減免額（環境） 108,000円×15%※ = 16,200円  
(※両制度の認証を得ていても、減免率は15%)  
支払額  
108,000円 - (72,000円 + 16,200円) = 19,800円

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (1) ESIスコア30以上及びグリーンアワード財団認証船

## 7. 申請方法

- ・提出時期 入港届と併せてご提出ください。
- ・申請者 船社または代理店
- ・申請方法 NACCS経由またはFAX等にてご提出ください。  
FAX等で申請の場合は、下記記載例をご参照のうえ、横浜港埠頭株式会社南部管理事務所 (045-621-9048) までお願いします。

NACCS理由コード 1YH33：環境配慮船が入港したとき

第3号様式（第7条第1項）

入港料減免申請書

年 月 日

横浜市長

住所又は所在地  
氏名又は名称  
(法人の場合は、名称・代表者氏名)  
連絡先

申請者

次のとおり入港料の減免を申請します。

【外航・内航】

申請者コード	〇〇〇〇-〇	
港湾名	横浜港	
入港日	年 月 日	
船名・信号符字等	船名	信号符字
総トン数	総トン数（換算トン取得済みの場合は換算トンも記載）	
入港料の額		
減免を受けようとする額		
減免を受けようとする理由		
備考		

(A4)

#### ➤入港料減免申請書のダウンロードURL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kowan/business-support/application.html>  
トップページ>事業者向け情報>分野別メニュー>港湾>ビジネスサポート情報一覧>申請書（第3号様式）

#### ➤申請書の「減免を受けようとする理由」欄について

横浜港では、入港料減免申請書の「減免を受けようとする理由」欄には、次のリンク先の「減免する事由」欄の文章を転記してください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kowan/business-support/shiyoryo/incentive.html>  
トップページ>事業者向け情報>分野別メニュー>港湾>ビジネスサポート情報一覧>港湾の使用料>港湾施設使用料等のインセンティブ

※申請書以外の必要書類につきましても、FAX等により横浜港埠頭株式会社南部管理事務所（045-621-9048）宛にご提出ください。



## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (1) ESIスコア30以上及びグリーンアワード財団認証船

## ■ ESIについて

### ➤ ESIとは

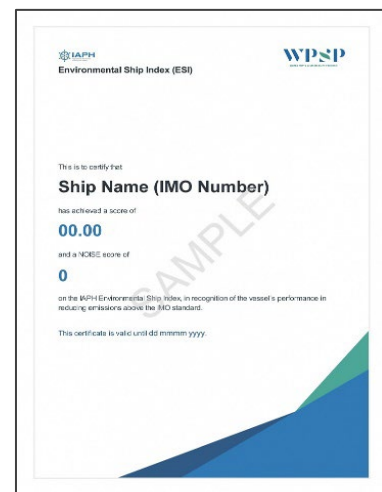
国際港湾協会（IAPH）主導のもと世界の港湾が結成したWPSP（World Port Sustainability Program）が運営。船舶からの大気汚染物質（NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub>、CO<sub>2</sub>）等の排出削減を主目的とします。

### ➤ 認証期間

6 か月。【注】6 か月毎に更新されますので御注意ください。

### ➤ Certificateの入手方法

船社はWPSPのWebからCertificateを取得できます。  
代理店等におかれましては、船社の当該部門からCertificateを入手していただくようお願いします。



ESIのCertificateサンプル

※（参考）WPSPのWebからCertificateを取得する方法

- ① ESIにログイン（IDは船社につき1つ）
- ② ESIのShipのページに入り、対象船を選択する
- ③ 船舶のページにあるCertificateのDownloadをクリックしてPDF形式で入手

## ■ グリーンアワード(GA)について

### ➤ グリーンアワードとは

オランダに本部を置くグリーンアワード財団が運営。環境配慮、安全対策、船員の質の向上など幅広い項目を審査対象としています。

### ➤ 認証期間

3 年間

### ➤ Certificateの入手方法

グリーンアワード財団から船社に交付されています。  
代理店等におかれましては、船社の当該部門からCertificateを入手していただくようお願いします。



グリーンアワードのCertificateサンプル

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (2) LNG燃料船

#### 1. 減免の対象

LNGを燃料とする船舶（以下、「LNG燃料船」）で横浜港に入港する船舶

※ ただし、LNGを運搬する船舶を除く。

#### 2. 減免額

入港料全額

#### 3. 必要書類

①入港料減免申請書

②下記のうちいずれかの証書の写し※

（客船） 旅客船安全証書(第1号様式)

（貨物船）貨物船安全構造証書(第2号様式)

貨物船安全証書(第5号様式)

##### 【確認する項目】

- 船舶の要目；  
対象船舶の確認、  
船舶の種類
- 利用燃料の確認（§2.2.）
- 証書の有効期間の確認

※「海上における人命の安全のための国際条約等による証書に関する省令（昭和四十年運輸省令第三十九号）」の第2条に規定されています。（第1号様式、第2号様式、第5号様式）

#### 4. 書類提出時期・申請者・申請方法

- ・提出時期 入港届と併せてご提出ください。
- ・申請者 船社または代理店
- ・申請方法 NACCS経由またはFAX等にてご提出ください  
FAXの場合は、横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所 (045-621-9048) までお願いします。

#### 5. 他のインセンティブと重複した場合

全額減免のため重複適用は実施しません。

#### 6. 注意事項

有効期間を過ぎた証書の場合には減免できません（基準は日本時間）。

第一調定日（毎月第三営業日）までに、所定の必要書類を必ずご提出ください。

※調定日を含む手続きに関してご不明な点がございましたら、横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所（045-621-9777）までご連絡ください。

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き (2) LNG燃料船

### 確認書類例 旅客船安全証書(第1号様式)

第1号様式(第2条関係)		番号 第 号 Certificate No. ....
旅客船安全証書 PASSENGER SHIP SAFETY CERTIFICATE		
この証書は、旅客船の安全のための設備の記録(様式P)によって補足される。 This Certificate shall be supplemented by a Record of Equipment for Passenger Ship Safety (Form P)		
公の印章 国 際 航海に用いるもの for an international voyage 日本国 JAPAN		
1988年の議定書により修正された1974年の海上における人命の安全のための国際条約に基づき、日本国政府の権限の下に、発給する。 Issued under the provisions of the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as modified by the Protocol of 1988 relating thereto under the authority of the Government of Japan		
<b>船舶の要目</b> Particulars of ship		
船名 Name of ship .....		
船舶番号又は番号符号 Distinctive number or letters .....		
船籍旗 Port of registry .....		
総トン数 Gross tonnage .....		
航行する海域(第IV章第2規則) Sea areas in which ship is certified to operate (regulation IV/2) .....		
国際海事機関船舶識別番号 IMO Number .....		
<b>建造の日</b> Date of build: .....		
建造契約が結ばれた日 Date of building contract .....		
P1		
キールが据え付けられた日又はこれと同様の建造段階に達した日 Date on which keel was laid or ship was at similar stage of construction .....		
引渡しの日 Date of delivery .....		
用途変更又は主要な変更若しくは改造が行われた場合にはその開始の日 Date on which work for a conversion or an alteration or modification of a major character was commenced (where applicable) .....		
該当する日付を全て記入すること。 All applicable dates shall be completed.		
この証書は、次のことを証明する。 THIS IS TO CERTIFY:		
1 この船舶が上記の条約第1章第7規則の規定に従って検査されたこと。 That the ship has been surveyed in accordance with the requirements of regulation I/7 of the Convention.		
2 検査の結果、次のことが明らかとなったこと。 That the survey showed that:		
2.1 この船舶が次の事項について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards:		
.1 船体、主機関及び補助機関並びにボイラーその他の圧力容器 the structure, main and auxiliary machinery, boilers and other pressure vessels;		
.2 水密区画の配置及び詳細 the watertight subdivision arrangements and details;		
.3 次の区画積載荷水線 the following subdivision load lines:		
指定されたかつ船舶の中央において船側に標示される区画積載荷水線(第II-1章第18規則) Subdivision load lines assigned and marked on the ship's side amidships (regulation II-1/18)		
フリーボード Freeboard		
他の用途に使用されることがある次の場所が旅客を積載する場所に含まれる場合に適用する。 To apply when the spaces in which passengers are carried include the following alternative spaces		
P.1		
P.2		
P.3		
2.2 この船舶が上記の条約第II-1章第6規則に適合し、燃料として.....を用いている／適合していないこと。 the ship complied with part 6 of chapter II-1 of the Convention using .....		
P2		
.....as fuel/N/A		
2.3 この船舶の防火構造、消防設備及び火災抑制装置について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards structural fire protection, fire safety systems and appliances and fire control plans;		
2.4 救命設備並びに救命艇、救命いす及び救助艇の装備品が、上記の条約に定める要件に従って備えられていること。 the life-saving appliances and the equipment of the lifeboats, liferafts and rescue boats were provided in accordance with the requirements of the Convention;		
2.5 この船舶が救命索降射器を上記の条約に定める要件に従って備えていること。 the ship was provided with a line throwing appliance in accordance with the requirements of the Convention;		
2.6 この船舶が無線設備について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards radio installations;		
2.7 救命設備において使用する無線設備の備付け及び機能が上記の条約に定める要件を満たしていること。 the provision and functioning of the radio installations used in life-saving appliances complied with the requirements of the Convention;		
2.8 この船舶が船舶に備える航行設備、乗客人用乗船設備及び航海用刊行物について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards shipborne navigational equipment, means of embarkation for pilots and nautical publications;		
2.9 この船舶が灯火、形状物並びに音響信号及び適当な信号の装置を上記の条約及び現行の海上における衝突の予防のための国際規則に従って備えていること。 the ship was provided with lights, shapes, means of making sound signals and distress signals, in accordance with the requirements of the Convention and the International Regulations for Preventing Collisions at Sea in force;		
2.10 他の全ての事項について、この船舶が上記の条約の関連規定に適合していること。 in all other respects the ship complied with the relevant requirements of the Convention;		
2.11 この船舶が上記の条約第II-1章第55規則/第II-2章第17規則/第III章第38規則に従って代替設計及び配置をしている／していないこと。 the ship was/was not subjected to an alternative design and arrangements in pursuance of regulation(s) II-1/55/II-2/17/III/38 of the Convention;		
2.12 隔間及び電気設備/防火/救命設備のための代替設計及び配置の承認文書が、この証書に附属されている／附属されていないこと。 a Document of approval of alternative design and arrangements for machinery and electrical installations/fire protection/life-saving appliances and arrangements is/is not appended to this Certificate.		
3 免除証書が、添付されている／添付されていないこと。 That an Exemption Certificate has/has not been issued.		
この証書は、.....まで効力を有する。 This certificate is valid until .....		
この証書の無効となる検査の元日(つ)は? .....		
Completion date of the survey on which this certificate is based: .....		
.....において発給した。 (証書の発給の場所) Issued at .....		
(Place of issue of certificate)		
..... (発給の日) (Date of issue)		
..... (管海官庁 氏名) (印章)		
更新検査が完了し、上記の条約第1章第14規則(d)の規定を適用する場合における検査 Enforcement where the renewal survey has been completed and regulation I/14(d) applies		
この船舶は、上記の条約の関連規定に適合していると認められる。よって、この証書は、同条約第1章第14規則(d)の規定に従って.....まで効力を有するものとする。 The ship complies with the relevant requirements of the Convention, and this certificate shall, in accordance with regulation I/14(d) of the Convention be accepted as valid until .....		
場 所 Place: .....		
日 Date: .....		
(管海官庁 氏名)(印章)		
上記の条約第1章第14規則(e)又は(f)の規定を適用する場合における検査に到着するまでの期間又は猶予期間について証書の有効期間を延長するための要書 Endorsement to extend the validity of the certificate until reaching the port of survey or for a period of grace where regulation I/14(e) or I/14(f) applies		
この証書は、上記の条約第1章第14規則(e)/(f)の規定に従って.....まで効力を有するものとする。		
P3		

次頁以降省略




## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き (2) LNG燃料船

### 確認書類例 貨物船安全構造証書(第2号様式)

P1	P2
<p>第2号様式 (第2条関係) (平成8年交船0・令改、平成8年交船68・一部改正)</p> <p>番号 第 号 Certificate No. _____</p> <p>貨物船安全構造証書 CARGO SHIP SAFETY CONSTRUCTION CERTIFICATE</p> <p>公の印鑑 日本国 JAPAN</p> <p>1988年の認定書により修正された1974年の海上における人命の安全のための国際条約に基づき、日本国政府の権限の下に、発給する。 Issued under the provisions of the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as modified by the Protocol of 1988 relating thereto under the authority of the Government of Japan</p> <div><p><b>船舶の要目</b> Particulars of ship</p><p>船名 Name of ship _____</p><p>船舶番号又は信号符 Distinctive number or letters _____</p><p>船籍地 Port of registry _____</p><p>総トン数 Gross tonnage _____</p><p>実重量 (メートル・トン) Deadweight of ship (metric tons) _____</p><p>国際海事機関船舶識別番号 IMO Number _____</p></div> <p><b>船舶の種類</b> Type of ship</p> <p>バルクキャリア Bulk carrier</p> <p>油タンカー Oil tanker</p> <p>化学薬品タンカー Chemical tanker</p> <p>ガス運搬船</p>	<p>Gas carrier 上記以外の貨物船 Cargo ship other than any of the above</p> <p>建造の日 Date of build: _____</p> <p>建造契約が結ばれた日 Date of building contract _____</p> <p>キールが据え付けられた日又はこれと同様の建造段階に達した日 Date on which keel was laid or ship was at similar stage of construction _____</p> <p>引渡しの日 Date of delivery _____</p> <p>用途変更又は主要な変更若しくは改修が行われた場合にはその開始の日 Date on which work for a conversion or an alteration or modification of a major character was commenced (where applicable) _____</p> <p>該当する日付を全て記入すること。 All applicable dates shall be completed.</p> <p>この証書は、次のことを証明する。 THIS IS TO CERTIFY:</p> <p>1 この船舶が上記の条約第1章第10規則の規定に従って検査されたこと。 That the ship has been surveyed in accordance with the requirements of regulation I/10 of the Convention.</p> <p>2 検査の結果、次のことが明らかになったこと。 That the survey showed that:</p> <p>1 上記の条約第1章第10規則に規定する船体、機関及び設備の状態が満足なものであること並びにこの船舶が同条約第II-1章及び第II-2章の関係規定 (消防設備及び火災制御に関する規定を除く。) に適合していること。 the condition of the structure, machinery and equipment as defined in the above regulation was satisfactory and the ship complied with the relevant requirements of chapters II-1 and II-2 of the Convention (other than those relating to fire safety systems and appliances and fire control plans) and</p> <div><p>2 この船舶が上記の条約第II-1章G部に適合し、燃料として _____ を用いている/適合していないこと。 the ship complied with part G of chapter II-1 of the Convention using _____ as fuel/N.A.</p></div>
<p>3 最近の二回の船底の外部の検査が _____ (日) 及び _____ (日) に行われたこと。 That the last two inspections of the outside of the ship's bottom took place on _____ and _____ (dates)</p> <p>4 免状証書が発給されている/発給されていないこと。 That an Exemption Certificate has/has not been issued.</p> <p>5 この船舶が上記の条約第II-1章第56規則/第II-2章第17規則に従って代替設計及び配置をしている/していないこと。 The ship was/was not subjected to an alternative design and arrangements in pursuance of regulation(s) II-1/56/II-2/17 of the Convention.</p> <p>6 機関及び電気設備/防火のための代替設計及び配置の承認文書が、この証書に添付されている/添付されていないこと。 A Document of approval of alternative design and arrangements for machinery and electrical installations/fire protection is/is not appended to this Certificate.</p> <div><p>この証書は、上記の条約第1章第10規則の規定に基づく年次検査、中間検査及び船底の外部の検査が行われることを条件として、 _____ まで効力を有する。 This certificate is valid until _____ subject to the annual and intermediate surveys and inspections of the outside of the ship's bottom in accordance with regulation I/10 of the Convention.</p><p>この証書の効力となる検査が行った日 Completion date of the survey on which this certificate is based: _____</p><p>(証書の発給の場所) Issued at: _____ (Place of issue of certificate)</p><p>(発給の日) _____ (Date of issue) _____ (管轄官庁 氏名) (印鑑)</p><p><b>年次検査及び中間検査に係る裏書</b> Endorsement for annual and intermediate surveys</p></div>	<p>上記の条約第1章第10規則の規定により要求される検査において、この船舶が同条約の関係規定に適合していると認められたことを証明する。 THIS IS TO CERTIFY that, at a survey required by regulation I/10 of the Convention, the ship was found to comply with the relevant requirements of the Convention.</p> <p>年次検査 Annual survey: 場所 _____ Place: _____ 日 _____ Date: _____ (管轄官庁 氏名) (印鑑)</p> <p>年次検査/中間検査 Annual/Intermediate survey: 場所 _____ Place: _____ 日 _____ Date: _____ (管轄官庁 氏名) (印鑑)</p> <p>年次検査/中間検査 Annual/Intermediate survey: 場所 _____ Place: _____ 日 _____ Date: _____ (管轄官庁 氏名) (印鑑)</p> <p>年次検査 Annual survey: 場所 _____ Place: _____ 日 _____ Date: _____ (管轄官庁 氏名) (印鑑)</p> <p>上記の条約第1章第14規則(0.09)の規定に基づく年次検査又は中間検査 Annual/intermediate survey in accordance with regulation I/14(0.09)</p> <p>上記の条約第1章第14規則(0.09)の規定に基づく年次検査/中間検査において、この船舶が同条約の関係規定に適合していると認められたことを証明する。 THIS IS TO CERTIFY that, at an annual/intermediate survey in accordance with regulation I/14(0.09) of the Convention, this ship was found to comply with the relevant requirements of the Convention.</p> <p>船底の外部の検査に係る裏書 Endorsement for inspections of the outside of the ship's bottom</p>
P3	次頁以降省略

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き (2) LNG燃料船

### 確認書類例 貨物船安全証書(第5号様式)

<p>第5号様式(第2半関係)</p> <p style="text-align: center;">番号 第 号 Certificate No. ....</p> <p style="text-align: center;">貨物船安全証書 CARGO SHIP SAFETY CERTIFICATE</p> <p>この証書は、貨物船の安全のための設備の記録(様式C)によって補完される。 This Certificate shall be supplemented by a Record of Equipment for Cargo Ship Safety (Form C)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">  公の印章         </div> <div style="text-align: center;">           日本国 JAPAN         </div> </div> <p>1958年の議定書により修正された1974年の条約における人命の安全のための国際条約に基づき、日本国政府の権限の下に、発給する。 Issued under the provisions of the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as modified by the Protocol of 1988 relating thereto under the authority of the Government of Japan</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><u>船舶の要目</u> Particulars of ship</p> <p>船名 Name of ship .....</p> <p>船舶番号又は番号文字 Distinctive number or letters .....</p> <p>船籍港 Port of registry .....</p> <p>総トン数 Gross tonnage .....</p> <p>積貨重量(メートル・トン) Deadweight of ship (metric tons) .....</p> <p>船舶の長さ(第III章第3規則12) Length of ship (regulation III/3.12) .....</p> <p>認められた航行海域(第IV章第2規則) Sea areas in which ship is certified to operate (regulation IV/2) .....</p> <p>国際海事機関船舶識別番号 IMO Number .....</p> </div>	<p><u>船舶の種類</u> Type of ship</p> <p>バルクキャリア Bulk carrier</p> <p>油タンカー Oil tanker</p> <p>化学薬品タンカー Chemical tanker</p> <p>ガス運搬船 Gas carrier</p> <p>上記以外の貨物船 Cargo ship other than any of the above</p> <p><u>建造の日</u> Date of build:</p> <p>建造契約が結ばれた日 Date of building contract .....</p> <p>キールが据え付けられた日又はこれと同様の建造段階に達した日 Date on which keel was laid or ship was at similar stage of construction .....</p> <p>引渡しの日 Date of delivery .....</p> <p>用途変更又は主要な変更若しくは改造が行われた場合にはその開始の日 Date on which work for a conversion or an alteration or modification of a major character was commenced (where applicable) .....</p> <p>該当する日付を全て記入すること。 All applicable dates shall be completed.</p> <p>この証書は、次のことを証明する。 THIS IS TO CERTIFY:</p> <p>1 この船舶が上記の条約第I章第8規則から第10規則までの規定に従って検査されたこと。 That the ship has been surveyed in accordance with the requirements of regulations I/8, I/9 and I/10 of the Convention.</p> <p>2 検査の結果、次のことが明らかにされたこと。 That the survey showed that:</p> <p>2.1 上記の条約第I章第10規則に規定する船体、機関及び設備の状態が満ちたものであること並びにこの船舶が同条約第II-I章及び第II-2章の関係規定(消防設備及び火災制御)に関する規定を除く。)に適合していることが明らかとなったこと。 The condition of the structure, machinery and equipment as defined in regulation I/10 was satisfactory and the ship complied with the relevant</p>
<p>requirements of chapter II-1 and chapter II-2 of the Convention (other than those relating to fire safety systems and appliances and fire control plans).</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>2.2 この船舶が上記の条約第II-I章第6節に適合し、燃料として.....を用いている／適合していないこと。 the ship complied with part 6 of chapter II-1 of the Convention using .... as fuel/NA.</p> </div> <p>2.3 最近の二回の船底の外部の検査が.....及び.....に行われたこと。 the last two inspections of the outside of the ship's bottom took place on ..... and ..... (dates)</p> <p>2.4 この船舶が消防設備及び火災制御図について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards fire safety systems and appliances and fire control plans;</p> <p>2.5 救命設備並びに救命艇、救命いかだ及び救助艇の積載品が上記の条約に定める要件に従って備えられていること。 the life-saving appliances and the equipment of the lifeboats, liferafts and rescue boats were provided in accordance with the requirements of the Convention;</p> <p>2.6 この船舶が救命索降射器を上記の条約に定める要件に従って備えていること。 the ship was provided with a line throwing appliance in accordance with the requirements of the Convention;</p> <p>2.7 この船舶が無線設備について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards radio installations;</p> <p>2.8 救命設備において使用する無線設備の備付け及び機能が上記の条約に定める要件を満たしていること。 the provision and functioning of the radio installations used in life saving appliances complied with the requirements of the Convention;</p> <p>2.9 この船舶が船舶に備える航行設備、水先人用求船設備及び航海用刊行物について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards shipborne navigational equipment, means of embarkation for pilots and nautical publications;</p> <p>2.10 この船舶が灯火、形状物並びに音符号及び避碰信号の装置を上記の条約及び航行の海上における衝突の予防のための国際規則に従って備えていること。</p>	<p>the ship was provided with lights, shapes, means of making sound signals and distress signals in accordance with the requirements of the Convention and the International Regulations for Preventing Collisions at Sea in force;</p> <p>2.11 他の全ての事項について、この船舶が上記の条約の関係規定に適合していること。 In all other respects the ship complied with the relevant requirements of the Convention;</p> <p>2.12 この船舶が上記の条約第II-I章第55規則／第II-2章第17規則／第III章第38規則に従って代替設計及び配置をしている／していないこと。 the ship was/was not subjected to an alternative design and arrangements in pursuance of regulation(s) II-1/55/II-2/17/III/38 of the Convention;</p> <p>2.13 機関及び電気設備／防火／救命設備のための代替設計及び配置の承認文書が、この証書に別紙されている／別紙されていないこと。 a Document of approval of alternative design and arrangements for machinery and electrical installations/fire protection/life-saving appliances and arrangements is/is not appended to this Certificate.</p> <p>3 この船舶が上記の条約第III章第26規則1.1に従って.....の海域に限定されて運転されていること。 That the ship operates in accordance with regulation III/26.1.1 within the limits of the trade area .....</p> <p>4 免除証書が発給されている／発給されていないこと。 That an Exemption Certificate has/have not been issued.</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>この証書は、上記の条約第I章第8規則から第10規則までの規定に基づく年次検査、中間検査、定期的検査及び船底の外部の検査が行われることを条件として、.....まで効力を有する。 This certificate is valid until ..... subject to the annual, intermediate and periodical surveys and inspections of the outside of the ship's bottom in accordance with regulations I/8, I/9 and I/10 of the Convention.</p> </div> <p>この証書の完成となる検査が完了した日:..... Completion date of the survey on which this certificate is based: .....</p> <p>(証書の発給の場所) Issued at ..... (Place of issue of certificate)</p> <p>(発給の日) ..... (Date of issue)</p>

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き (2) LNG燃料船

### 7. 申請方法

- ・提出時期 入港届と併せてご提出ください。
- ・申請者 船社または代理店
- ・申請方法 NACCS経由またはFAX等にてご提出ください。  
FAX等で申請の場合は、下記記載例をご参照のうえ、横浜港埠頭株式会社南部管理事務所（045-621-9048）までお願いします。

NACCS理由ード

1YH39：LNGを供給する船舶が横浜港に入港したとき

1YH40：LNGを燃料とする船舶が横浜港に入港したとき

第3号様式（第7条第1項）

入港料減免申請書

年 月 日

横浜市長

住所又は所在地  
申請者 氏名又は名称  
(法人の場合は、名称・代表者氏名)  
連絡先

次のとおり入港料の減免を申請します。

【外航・内航】

申請者コード	〇〇〇〇-〇	
港湾名	横浜港	
入港日	年 月 日	
船名・信号符字等	船名	信号符字
総トン数	総トン数（換算トン取得済みの場合は換算トンも記載）	
入港料の額		
減免を受けようとする額		
減免を受けようとする理由		
備考		

(A4)

#### ➤入港料減免申請書のダウンロードURL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kowan/business-support/application.html>

トップページ>事業者向け情報>分野別メニュー>港湾>ビジネスサポート情報一覧>申請書（第3号様式）

#### ➤申請書の「減免を受けようとする理由」欄について

横浜港では、入港料減免申請書の「減免を受けようとする理由」欄には、次のリンク先の「減免する事由」欄の文章を転記してください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kowan/business-support/shiyoryo/incentive.html>

トップページ>事業者向け情報>分野別メニュー>港湾>ビジネスサポート情報一覧>港湾の使用料>港湾施設使用料等のインセンティブ

※申請書以外の必要書類につきましても、FAX等により横浜港埠頭株式会社南部管理事務所（045-621-9048）宛にご提出ください。

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (3) LNGバンカリング船

#### 1. 減免の対象

LNG燃料を供給する船舶（以下、「LNGバンカリング船」）で横浜港に入港する船舶

#### 2. 減免額

	入港料	岸壁使用料
LNGバンカリング船（LNG運搬船を除く）	全額	全額
LNGバンカリング船（LNG運搬船を除く）のうち、LNG以外の燃料も供給可能な設備を有する船舶	全額	75%相当額

#### 3. 必要書類

入港料	岸壁使用料
①入港料減免申請書	①岸壁使用料減免申請書
【②及び③または④を添付すること】 ②国際液化ガスばら積船適合証書（IGC証書） （第5号様式2の2） ③危険物取扱規程 （危規則第143条の2に基づき地方運輸局長が承認したもの） ④船舶検査証書 （船舶安全法第9条に基づき地方運輸局長が承認したもの）	【確認する項目】 ○船舶の要目； 対象船舶の確認、 船舶の種類 ○利用燃料の確認（§2.2.） ○証書の有効期間の確認

上記の表中のLNGバンカリング船の書類②は「海上における人命の安全のための国際条約等による証書に関する省令（昭和四十年運輸省令第三十九号）」の第2条に規定されています。（第5号様式2の2）

#### 4. 書類提出時期・申請者・申請方法

- ・提出時期 入港届と併せてご提出ください。
- ・申請者 船社または代理店
- ・申請方法 入港料減免申請はNACCS経由またはFAX等にてご提出ください。  
岸壁使用料減免申請と併せて申請する場合、P13の様式を参照してください。  
FAXの場合は、横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所（045-621-9048）までお願いします。

#### 5. 他のインセンティブと重複した場合（入港料について）

全額減免のため重複適用は実施しません。

#### 6. 注意事項

有効期間を過ぎた証書の場合には減免できません（基準は日本時間）。

第一調定日（毎月第三営業日）までに、所定の必要書類を必ずご提出ください。

※調定日を含む手続きに関してご不明な点がございましたら、横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所（045-621-9777）までご連絡ください。

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (3) LNGバンカリング船

## 7. 申請方法

- ・申請者 船社または代理店
- ・申請方法 FAX等にて横浜港埠頭株式会社南部管理事務所045-621-9048)までご提出ください。

第16号様式（第2条第7号イ）

入 港 料  
岸壁使用料 減免申請書  
自走式渡船橋使用料

年 月 日

(申請先)  
横浜市長

住所又は所在地  
申請者 氏名又は名称  
(法人の場合は、名称・代表者の氏名)  
連 絡 先

次のとおり入港料・岸壁使用料・自走式渡船橋使用料の免除を受けたいので申請します。

対 象 船 舶	名 称 及 び 信 号 符 号	※船名（信号符号）を記載	
	総 ト ン 数	※換算トン取得済みの場合は換算トンも記載	
	停 泊 場 所		
	入 港 日 時		
	入 港 目 的		
	着 岸 日 時		
納 付 す べ き 金 額	入 港 料		
	岸 壁 使 用 料		
	自走式渡船橋使用料	_____	
免除を受けようとする金額	入 港 料		
	岸 壁 使 用 料		
	自走式渡船橋使用料	_____	
免除を受けようとする理由	液化天然ガスを燃料とする船舶に燃料として、液化天然ガスを海上において供給するための設備を有する船舶のうち液化天然ガス以外の燃料を海上において供給する設備も併せもつ船舶が停泊地として岸壁を使用したとき		

(A4)

#### ➤入港料減免申請書のダウンロードURL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kowan/business-support/application.html>  
 トップページ>事業者向け情報>分野別メニュー>港湾>ビジネスサポート情報一覧>申請書（第16号様式）

#### ➤申請書の「減免を受けようとする理由」欄について

横浜港では、入港料減免申請書の「減免を受けようとする理由」欄には、次のリンク先の「減免する事由」欄の文章を転記してください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kowan/business-support/shioryo/incentive.html>

トップページ>事業者向け情報>分野別メニュー>港湾>ビジネスサポート情報一覧>港湾の使用料>港湾施設使用料等のインセンティブ

※申請書以外の必要書類につきましても、FAX等により横浜港埠頭株式会社南部管理事務所（045-621-9048）宛にご提出ください。



## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (4) メタノール燃料船

#### 1. 減免の対象

メタノールを燃料とする船舶（以下、「メタノール燃料船」）で横浜港に入港する船舶

#### 2. 減免額

入港料全額

#### 3. 必要書類

①入港料減免申請書

②下記のうちいずれかの証書の写し※

（客船） 旅客船安全証書(第1号様式)

（貨物船） 貨物船安全構造証書(第2号様式)

貨物船安全証書(第5号様式)

##### 【確認する項目】

○船舶の要目； 対象船舶の確認

○利用燃料の確認 (§2.2.)

○証書の有効期間の確認

※「海上における人命の安全のための国際条約等による証書に関する省令（昭和四十年運輸省令第三十九号）」の第2条に規定されています。（第1号様式、第2号様式、第5号様式）

#### 4. 書類提出時期・申請者・申請方法

・提出時期 入港届と併せてご提出ください。

・申請者 船社または代理店

・申請方法 NACCS経由またはFAX等にてご提出ください

FAXの場合は、横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所 (045-621-9048) までお願いします。

#### 5. 他のインセンティブと重複した場合

全額減免のため重複適用は実施しません。

#### 6. 注意事項

有効期間を過ぎた証書の場合には減免できません（基準は日本時間）。

第一調定日（毎月第三営業日）までに、所定の必要書類を必ずご提出ください。

※調定日を含む手続きに関してご不明な点がございましたら、横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所 (045-621-9777) までご連絡ください。

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (4) メタノール燃料船

## 確認書類例 旅客船安全証書(第1号様式)

<p>第1号様式(第2条関係)</p> <p style="text-align: center;">番号 第 号 Certificate No. ....</p> <p style="text-align: center;">旅客船安全証書 PASSENGER SHIP SAFETY CERTIFICATE</p> <p>この証書は、旅客船の安全のための設備の記録(様式P)によって補足される。 This Certificate shall be supplemented by a Record of Equipment for Passenger Ship Safety (Form P)</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">               公の印章         </div> <div style="text-align: center;">             国際航海に對するもの              for an international voyage              or a short         </div> <div style="text-align: center;">             日本国              JAPAN         </div> </div> <p>1968年の議定書により修正された1974年の海上における人命の安全のための国際条約に基づき、日本国政府の権限の下に、発給する。 Issued under the provisions of the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as modified by the Protocol of 1968 relating thereto under the authority of the Government of Japan</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><u>船舶の要目</u> Particulars of ship</p> <p>船名 Name of ship .....</p> <p>船舶番号又は番号符号 Distinctive number or letters .....</p> <p>船籍旗 Port of registry .....</p> <p>総トン数 Gross tonnage .....</p> <p>航行する海域(第IV章第2規則) Sea areas in which ship is certified to operate (regulation IV/2) .....</p> <p>国際海事機関船舶識別番号 IMO Number .....</p> </div> <p><u>建造の日</u> Date of build: .....</p> <p>建造契約が結ばれた日 Date of building contract .....</p>	<p>キールが据え付けられた日又はこれと同様の建造段階に達した日 Date on which keel was laid or ship was at similar stage of construction .....</p> <p>引渡しの日 Date of delivery .....</p> <p>用途変更又は主要な変更若しくは改造が行われた場合にはその開始の日 Date on which work for a conversion or an alteration or modification of a major character was commenced (where applicable) .....</p> <p>該当する日付を全て記入すること。 All applicable dates shall be completed.</p> <p>この証書は、次のことを証明する。 THIS IS TO CERTIFY:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>この船舶が上記の条約第1章第7規則の規定に従って検査されたこと。 That the ship has been surveyed in accordance with the requirements of regulation I/7 of the Convention.</li> <li>検査の結果、次のことが明らかとなったこと。 That the survey showed that:</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>2.1 この船舶が次の事項について上記の条約に定める要件を満たしていること、 the ship complied with the requirements of the Convention as regards:             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 船体、主機関及び補助機関並びにボイラーその他の圧力容器 the structure, main and auxiliary machinery, boilers and other pressure vessels;</li> <li>2. 水密区画の配置及び詳細 the watertight subdivision arrangements and details;</li> <li>3. 次の区画搭載荷線 the following subdivision load lines:</li> </ol> </li> </ol> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 33%;">指定された船舶の中央において船舶に標示される区画搭載荷線(第II-1章第18規則) Subdivision load lines assigned and marked on the ship's side amidships (regulation II-1/18)</td> <td style="width: 33%;">フリーボード Freeboard</td> <td style="width: 33%;">他の用途に使用されることがある次の場所が旅客を積載する場所に含まれる場合に適用する。 To apply when the spaces in which passengers are carried include the following alternative spaces</td> </tr> <tr> <td>P.1 .....</td> <td>.....</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>P.2 .....</td> <td>.....</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>P.3 .....</td> <td>.....</td> <td>.....</td> </tr> </table> <p>2.2 この船舶が上記の条約第II-1章第6規則に適合し、燃料として.....を用いている／適合していないこと。 the ship complied with part 6 of chapter II-1 of the Convention using ....</p>	指定された船舶の中央において船舶に標示される区画搭載荷線(第II-1章第18規則) Subdivision load lines assigned and marked on the ship's side amidships (regulation II-1/18)	フリーボード Freeboard	他の用途に使用されることがある次の場所が旅客を積載する場所に含まれる場合に適用する。 To apply when the spaces in which passengers are carried include the following alternative spaces	P.1 .....	.....	.....	P.2 .....	.....	.....	P.3 .....	.....	.....
指定された船舶の中央において船舶に標示される区画搭載荷線(第II-1章第18規則) Subdivision load lines assigned and marked on the ship's side amidships (regulation II-1/18)	フリーボード Freeboard	他の用途に使用されることがある次の場所が旅客を積載する場所に含まれる場合に適用する。 To apply when the spaces in which passengers are carried include the following alternative spaces											
P.1 .....	.....	.....											
P.2 .....	.....	.....											
P.3 .....	.....	.....											
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>.....as fuel/N.A.</p> </div> <p>2.3 この船舶の防火構造、消防設備及び火災抑制装置について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards structural fire protection, fire safety systems and appliances and fire control plans;</p> <p>2.4 救命設備並びに救命艇、救命いかだ及び救助艇の装備品が、上記の条約に定める要件に従って備えられていること。 the life-saving appliances and the equipment of the lifeboats, liferafts and rescue boats were provided in accordance with the requirements of the Convention;</p> <p>2.5 この船舶が救命索降射器を上記の条約に定める要件に従って備えていること。 the ship was provided with a line throwing appliance in accordance with the requirements of the Convention;</p> <p>2.6 この船舶が無線設備について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards radio installations;</p> <p>2.7 救命設備において使用する無線設備の備付け及び機能が上記の条約に定める要件を満たしていること。 the provision and functioning of the radio installations used in life-saving appliances complied with the requirements of the Convention;</p> <p>2.8 この船舶が船舶に備える航行設備、乗客人用乗船設備及び航海用刊行物について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards shipborne navigational equipment, means of embarkation for pilots and nautical publications;</p> <p>2.9 この船舶が灯火、形状物並びに音響信号及び適当な信号の装置を上記の条約及び現行の海上における衝突の予防のための国際規則に従って備えていること。 the ship was provided with lights, shapes, means of making sound signals and distress signals, in accordance with the requirements of the Convention and the International Regulations for Preventing Collisions at Sea in force;</p> <p>2.10 他の全ての事項について、この船舶が上記の条約の関連規定に適合していること。 in all other respects the ship complied with the relevant requirements of the Convention;</p> <p>2.11 この船舶が上記の条約第II-1章第55規則/第III-2章第17規則/第III章第38規則に従って代替設計及び配置をしている／していないこと。 the ship was/was not subjected to an alternative design and arrangements in pursuance of regulation(s) II-1/55/II-2/17/III/38 of the Convention;</p> <p>2.12 隔間及び電気設備/防火/救命設備のための代替設計及び配置の承認文書が、こ</p>	<p>の証書に附属されている／附属されていないこと。 a Document of approval of alternative design and arrangements for machinery and electrical installations/fire protection/life-saving appliances and arrangements is/is not appended to this Certificate.</p> <p>3 免除証書が、添付されている／添付されていないこと。 That an Exemption Certificate has/has not been issued</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>この証書は、.....まで効力を有する。 This certificate is valid until .....</p> </div> <p>この証書の無効となる検査の元日(つ)は? .....</p> <p>Completion date of the survey on which this certificate is based: .....</p> <p>.....において発給した。 (証書の発給の場所) Issued at .....</p> <p>..... (Place of issue of certificate)</p> <p>..... (発給の日) (Date of issue) .....</p> <p>..... (管海官庁 氏名) (印章)</p> <p>更新検査が完了し、上記の条約第1章第14規則(d)の規定を適用する場合における検査 Enforcement where the renewal survey has been completed and regulation I/14(d) applies</p> <p>この船舶は、上記の条約の関連規定に適合していると認められる。よって、この証書は、同条約第1章第14規則(d)の規定に従って.....まで効力を有するものとする。 The ship complies with the relevant requirements of the Convention, and this certificate shall, in accordance with regulation I/14(d) of the Convention be accepted as valid until .....</p> <p style="text-align: right;">場 所 Place: ..... 日 Date: ..... (管海官庁 氏名) (印章)</p> <p>上記の条約第1章第14規則(e)又は(f)の規定を適用する場合における検査に到着するまでの期間又は猶予期間について証書の有効期間を延長するための要書 Endorsement to extend the validity of the certificate until reaching the port of survey or for a period of grace where regulation I/14(e) or I/14(f) applies</p> <p>この証書は、上記の条約第1章第14規則(e)/(f)の規定に従って.....まで効力を有するものとする。</p>												

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (4) メタノール燃料船


## 確認書類例 貨物船安全構造証書(第2号様式)

<p>第2号様式 (第2条関係) (平成8年交第60号・令改、平成8年交第68号・一部改正)</p> <p style="text-align: center;">番号 第 号 Certificate No. _____</p> <p style="text-align: center;">貨物船安全構造証書 CARGO SHIP SAFETY CONSTRUCTION CERTIFICATE</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">               公の印         </div> <div style="text-align: center;">             日本国 JAPAN         </div> </div> <p>1988年の議定書により修正された1974年の海上における人命の安全のための国際条約に基づき、日本国政府の権限の下に、発給する。 Issued under the provisions of the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as modified by the Protocol of 1988 relating thereto under the authority of the Government of Japan</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>船舶の要目</b> Particulars of ship</p> <p>船名 _____ Name of ship</p> <p>船舶番号又は信号符 _____ Distinctive number or letters</p> <p>船籍地 _____ Port of registry</p> <p>総トン数 _____ Gross tonnage</p> <p>実重量 (メートル・トン) _____ Deadweight of ship (metric tons)</p> <p>国際海事機関船舶識別番号 _____ IMO Number</p> </div> <p><b>船舶の種類</b> Type of ship</p> <p>バルクキャリア _____ Bulk carrier</p> <p>油タンカー _____ Oil tanker</p> <p>化学薬品タンカー _____ Chemical tanker</p> <p>ガス運搬船 _____ Gas carrier</p>	<p>Gas carrier 上記以外の貨物船 Cargo ship other than any of the above</p> <p><b>建造の日</b> Date of build: _____ 建造契約が結ばれた日 Date of building contract _____ キールが据え付けられた日又はこれと同様の建造段階に達した日 Date on which keel was laid or ship was at similar stage of construction _____ 引渡しの日 Date of delivery _____ 用途変更又は主要な変更若しくは改修が行われた場合にはその開始の日 Date on which work for a conversion or an alteration or modification of a major character was commenced (where applicable) _____ 該当する日付を全て記入すること。 All applicable dates shall be completed.</p> <p>この証書は、次のことを証明する。 THIS IS TO CERTIFY:</p> <p>1 この船舶が上記の条約第1章第10規則の規定に従って検査されたこと。 That the ship has been surveyed in accordance with the requirements of regulation I/10 of the Convention.</p> <p>2 検査の結果、次のことが明らかにしたこと。 That the survey showed that:</p> <p>1 上記の条約第1章第10規則に規定する船体、機関及び設備の状態が満足なものであること並びにこの船舶が同条約第II-1章及び第II-2章の関係規定(消防設備及び火災制御装置に関する規定を除く。)に適合していること。 the condition of the structure, machinery and equipment as defined in the above regulation was satisfactory and the ship complied with the relevant requirements of chapters II-1 and II-2 of the Convention (other than those relating to fire safety systems and appliances and fire control plans); and</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2 この船舶が上記の条約第II-1章G部に適合し、燃料として _____ を用いている/適合していないこと。 the ship complied with part G of chapter II-1 of the Convention using _____ as fuel/N.A.</p> </div>
<p>3 最近の二回の船底の外部の検査が _____ (日) 及び _____ (日) に行われたこと。 That the last two inspections of the outside of the ship's bottom took place on _____ and _____ (dates)</p> <p>4 免状証書が発給されている/発給されていないこと。 That an Exemption Certificate has/has not been issued.</p> <p>5 この船舶が上記の条約第II-1章第56規則/第II-2章第17規則に従って代替設計及び配置をしている/していないこと。 The ship was/was not subjected to an alternative design and arrangements in pursuance of regulation(s) II-1/56/II-2/17 of the Convention.</p> <p>6 機関及び電気設備/防火のための代替設計及び配置の承認文書が、この証書に添付されている/添付されていないこと。 A Document of approval of alternative design and arrangements for machinery and electrical installations/fire protection is/is not appended to this Certificate.</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>この証書は、上記の条約第1章第10規則の規定に基づく年次検査、中間検査及び船底の外部の検査が行われることを条件として、 _____ まで効力を有する。 This certificate is valid until _____ subject to the annual and intermediate surveys and inspections of the outside of the ship's bottom in accordance with regulation I/10 of the Convention.</p> <p>この証書の効力となる検査が行った日 _____ Completion date of the survey on which this certificate is based: _____ (証書の発給の場所) _____ Issued at: _____ (Place of issue of certificate)</p> <p>_____ (発給の日) (Date of issue) _____ (管轄官庁 氏名) (印)</p> </div> <p><b>年次検査及び中間検査に係る裏書</b> Endorsement for annual and intermediate surveys</p>	<p>上記の条約第1章第10規則の規定により要求される検査において、この船舶が同条約の関係規定に適合していると認められたことを証明する。 THIS IS TO CERTIFY that, at a survey required by regulation I/10 of the Convention, the ship was found to comply with the relevant requirements of the Convention.</p> <p>年次検査 Annual survey: 場所 Place: _____ 日 Date: _____ (管轄官庁 氏名) (印)</p> <p>年次検査/中間検査 Annual/Intermediate survey: 場所 Place: _____ 日 Date: _____ (管轄官庁 氏名) (印)</p> <p>年次検査/中間検査 Annual/Intermediate survey: 場所 Place: _____ 日 Date: _____ (管轄官庁 氏名) (印)</p> <p>年次検査 Annual survey: 場所 Place: _____ 日 Date: _____ (管轄官庁 氏名) (印)</p> <p>上記の条約第1章第14規則(1)の項に基づき年次検査又は中間検査 Annual/intermediate survey in accordance with regulation I/14(1)の項 上記の条約第1章第14規則(1)の項に基づき年次検査/中間検査において、この船舶が同条約の関係規定に適合していると認められたことを証明する。 THIS IS TO CERTIFY that, at an annual/intermediate survey in accordance with regulation I/14(1) of the Convention, this ship was found to comply with the relevant requirements of the Convention.</p> <p>船底の外部の検査に係る裏書 Endorsement for inspections of the outside of the ship's bottom</p>

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (4) メタノール燃料船

## 確認書類例 貨物船安全証書(第5号様式)

<div data-bbox="178 208 289 224">第5号様式(第2半関係)</div> <div data-bbox="461 226 604 260">番号 第 号 Certificate No. ....</div> <div data-bbox="318 280 482 312">貨物船安全証書 CARGO SHIP SAFETY CERTIFICATE</div> <div data-bbox="195 314 604 361">この証書は、貨物船の安全のための設備の記録(様式C)によって補完される。 This Certificate shall be supplemented by a Record of Equipment for Cargo Ship Safety (Form C)</div> <div data-bbox="195 376 247 430"></div> <div data-bbox="561 390 595 419">日本国 JAPAN</div> <div data-bbox="175 448 624 535">1958年の議定書により修正された1974年の海上における人命の安全のための国際条約に基づき、日本国政府の権限の下に、発給する。 Issued under the provisions of the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as modified by the Protocol of 1988 relating thereto under the authority of the Government of Japan</div> <div data-bbox="188 554 257 569"><b>船舶の要目</b></div> <div data-bbox="188 571 295 587"><u>Particulars of ship</u></div> <div data-bbox="188 589 624 888">船名 Name of ship ..... 船舶番号又は信号符字 Distinctive number or letters ..... 船務港 Port of registry ..... 船トン数 Gross tonnage ..... 積貨重量(メートル・トン) Deadweight of ship (metric tons) ..... 船舶の長さ(第III章第3規則12) Length of ship (regulation III/3.12) ..... 認められた航行海域(第IV章第2規則) Sea areas in which ship is certified to operate (regulation IV/2) ..... 国際海事機関船舶識別番号 IMO Number .....</div> <div data-bbox="632 906 685 944">P1</div>	<div data-bbox="805 208 866 224"><u>船舶の種類</u></div> <div data-bbox="805 226 876 241"><u>Type of ship</u></div> <div data-bbox="816 243 1029 419">バルクキャリア Bulk carrier 油タンカー Oil tanker 化学薬品タンカー Chemical tanker ガス運搬船 Gas carrier 上記以外の貨物船 Cargo ship other than any of the above</div> <div data-bbox="805 438 856 454"><u>建造の日</u></div> <div data-bbox="805 455 892 471"><u>Date of build:</u></div> <div data-bbox="816 473 1240 664">建造契約が結ばれた日 Date of building contract ..... キールが据え付けられた日又はこれと同様の建造段階に達した日 Date on which keel was laid or ship was at similar stage of construction ..... 引渡しの日 Date of delivery ..... 用途変更又は主要な変更若しくは改造が行われた場合にはその開始の日 Date on which work for a conversion or an alteration or modification of a major character was commenced (where applicable) ..... 該当する日付を全て記入すること。 All applicable dates shall be completed.</div> <div data-bbox="805 683 981 699">この証書は、次のことを証明する。</div> <div data-bbox="805 701 919 716">THIS IS TO CERTIFY:</div> <div data-bbox="805 718 1243 913">1 この船舶が上記の条約第I章第8規則から第10規則までの規定に従って検査されたこと。 That the ship has been surveyed in accordance with the requirements of regulations I/8, I/9 and I/10 of the Convention. 2 検査の結果、次のことが明らかにされたこと。 That the survey showed that: 2.1 上記の条約第I章第10規則に規定する船体、機関及び設備の状態が満ちたものであ ること並びにこの船舶が同条約第II-I章及び第II-2章の関係規定(消防設備及び 火災制動機に関する規定を除く。)に適合していることが明らかとなったこと。 The condition of the structure, machinery and equipment as defined in regulation I/10 was satisfactory and the ship complied with the relevant</div> <div data-bbox="1252 906 1305 944">P2</div>
<div data-bbox="215 998 619 1045">requirements of chapter II-1 and chapter II-2 of the Convention (other than those relating to fire safety systems and appliances and fire control plans).</div> <div data-bbox="188 1047 624 1118">2.2 この船舶が上記の条約第II-I章第6部に適合し、燃料として.....を用いている ／適合していないこと。 the ship complied with part 6 of chapter II-1 of the Convention using .... ..... as fuel/oil.</div> <div data-bbox="188 1120 624 1153">2.3 最近の二回の船底の外部の検査が.....及び.....に行 われたこと。 the last two inspections of the outside of the ship's bottom took place on ..... and ..... (dates)</div> <div data-bbox="188 1224 624 1296">2.4 この船舶が消防設備及び火災制動機について上記の条約に定める要件を満たしてい ること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards fire safety systems and appliances and fire control plans;</div> <div data-bbox="188 1307 624 1402">2.5 救命設備並びに救命艇、救命いかだ及び救助艇の積載品が上記の条約に定める要件 に従って備えられていること。 the life-saving appliances and the equipment of the lifeboats, liferafts and rescue boats were provided in accordance with the requirements of the Convention;</div> <div data-bbox="188 1404 624 1466">2.6 この船舶が救命索降射器を上記の条約に定める要件に従って備えていること。 the ship was provided with a line throwing appliance in accordance with the requirements of the Convention;</div> <div data-bbox="188 1466 624 1508">2.7 この船舶が無線設備について上記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards radio installations;</div> <div data-bbox="188 1508 624 1580">2.8 救命設備において使用する無線設備の備付け及び機能が上記の条約に定める要件を 満たしていること。 the provision and functioning of the radio installations used in life saving appliances complied with the requirements of the Convention;</div> <div data-bbox="188 1580 624 1667">2.9 この船舶が船舶に備える航行設備、水先人用求船設備及び航海用刊行物について上 記の条約に定める要件を満たしていること。 the ship complied with the requirements of the Convention as regards shipborne navigational equipment, means of embarkation for pilots and nautical publications;</div> <div data-bbox="188 1667 624 1702">2.10 この船舶が灯火、形状物並びに信号符及び避碰信号の装置を上記の条約及び現 行の海上における衝突の予防のための国際規則に従って備えていること。</div> <div data-bbox="632 1694 682 1733">P3</div>	<div data-bbox="838 998 1240 1066">the ship was provided with lights, shapes, means of making sound signals and distress signals in accordance with the requirements of the Convention and the International Regulations for Preventing Collisions at Sea in force;</div> <div data-bbox="805 1068 1240 1120">2.11 他の全ての事項について、この船舶が上記の条約の関係規定に適合していること。 In all other respects the ship complied with the relevant requirements of the Convention;</div> <div data-bbox="805 1120 1240 1280">2.12 この船舶が上記の条約第II-I章第55規則／第II-2章第17規則／第III章第38規則 に従って代替設計及び配置をしている／していないこと。 the ship was/was not subjected to an alternative design and arrangements in pursuance of regulation(s) II-1/55/II-2/17/III/38 of the Convention;</div> <div data-bbox="805 1280 1240 1387">2.13 機関及び電気設備／防火／救命設備のための代替設計及び配置の承認文書が、こ の証書に別紙されている／別紙されていないこと。 a Document of approval of alternative design and arrangements for machinery and electrical installations/fire protection/life-saving appliances and arrangements is/is not appended to this Certificate.</div> <div data-bbox="805 1387 1240 1458">3 この船舶が上記の条約第III章第26規則1.1に従って.....の海域に 限られて運転されていること。 That the ship operates in accordance with regulation III/26.1.1 within the limits of the trade area .....</div> <div data-bbox="805 1458 1240 1530">4 免除証書が発給されている／発給されていないこと。 That an Exemption Certificate has/has not been issued.</div> <div data-bbox="805 1530 1240 1601">この証書は、上記の条約第I章第8規則から第10規則までの規定に基づく年次検査、中間 検査、定期的検査及び船舶の外部の検査が行われることを条件として、..... .....まで効力を有する。 This certificate is valid until ..... subject to the annual, intermediate and periodical surveys and inspections of the outside of the ship's bottom in accordance with regulations I/8, I/9 and I /10 of the Convention.</div> <div data-bbox="805 1601 1240 1636">この証書の発となる検査が完了した日:..... Completion date of the survey on which this certificate is based: .....</div> <div data-bbox="805 1636 1240 1671">(証書の発給の場所) Issued at .....</div> <div data-bbox="805 1671 1240 1705">(発給の日) (Date of issue)</div> <div data-bbox="1071 1694 1305 1733">次頁以降省略</div>

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (4) メタノール燃料船

## 7. 申請方法

- ・提出時期 入港届と併せてご提出ください。
- ・申請者 船社または代理店
- ・申請方法 NACCS経由またはFAX等にてご提出ください。  
FAX等で申請の場合は、下記記載例をご参照のうえ、横浜港埠頭株式会社南部管理事務所（045-621-9048）までお願いします。

NACCS理由コード

1YH41：メタノールを燃料とする船舶が横浜港に入港したとき

第3号様式（第7条第1項）

入港料減免申請書

年 月 日

横浜市長

住所又は所在地  
氏名又は名称  
(法人の場合は、名称・代表者氏名)  
連絡先

申請者

次のとおり入港料の減免を申請します。

【外航・内航】

申請者コード	〇〇〇〇-〇	
港湾名	横浜港	
入港日	年 月 日	
船名・信号符字等	船名	信号符字
総トン数	総トン数（換算トン取得済みの場合は換算トンも記載）	
入港料の額		
減免を受けようとする額		
減免を受けようとする理由		
備考		

(A4)

➤入港料減免申請書のダウンロードURL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kowan/business-support/application.html>  
トップページ>事業者向け情報>分野別メニュー>港湾>ビジネスサポート情報一覧>申請書（第3号様式）

➤申請書の「減免を受けようとする理由」欄について

横浜港では、入港料減免申請書の「減免を受けようとする理由」欄には、次のリンク先の「減免する事由」欄の文章を転記してください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kowan/business-support/shiyoryo/incentive.html>

トップページ>事業者向け情報>分野別メニュー>港湾>ビジネスサポート情報一覧>港湾の使用料>港湾施設使用料等のインセンティブ

※申請書以外の必要書類につきましても、FAX等により横浜港埠頭株式会社南部管理事務所（045-621-9048）宛にご提出ください。



## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き (5) バイオ燃料使用船

### 1. 減免の対象

横浜港に入港したバイオ燃料使用船が、横浜港において混合比率24%以上のバイオ燃料混合油を一度に300トン以上補油したとき

### 2. 減免額

入港料全額

### 3. 必要書類





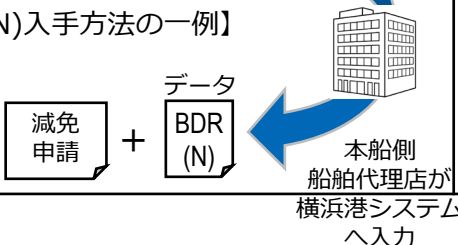
- ①入港料減免申請書
- ②バンカーデリバリーレシート（ノート）  
※Bunker Delivery Receipt (Note)

#### 【確認する項目】

- M/S S/S（船名）
- Delivery date from Depot（燃料補給日）
- Description(grade)（内容/グレード（油種・格））
- Port(of Bunkering)（燃料補給を行った港）
- Quantity(Delivered) Metric Ton  
（供給数量 メトリックトン）

### 4. 書類提出時期・申請者・申請方法

- ・提出時期 BDR(N)を入手してから、ご提出ください
- ・申請者 代理店
- ・申請方法 NACCS経由またはFAX等にてご提出ください  
FAXの場合は、横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所（045-621-9048）までお願いします。

時系列	入港時	バンカリング時	出港時
提出書類			
バイオ燃料使用船の場合		<p>【BDR(N)入手方法の一例】</p> 	

### 5. 他のインセンティブと重複した場合

全額減免のため重複適用は実施しません。

### 6. 注意事項

- 第一調定日（毎月第三営業日）までに、所定の必要書類を必ずご提出ください。  
※調定日を含む手続きに関してご不明な点がございましたら、横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所（045-621-9777）までご連絡ください。

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (5) バイオ燃料使用船

#### 確認書類 バンカーデリバリーレシート（ノート）

※ 燃料サプライヤーによって様式は異なります。

#### BUNKER DELIVERY RECEIPT (NOTE)

ABC ENERGY CO.,LTD.

6-50-10 Hon-cho, Naka-ku,  
Yokohama 231-0005, Japan  
PHONE +81-45-671-XXXX

Account of		Delivery Depot			
M/S	S/S	Delivery Date from Depot			
IMO No.		Port  横浜港であること			
Description  B24以上であること		D/O No.			
Quality	Density kg/m <sup>3</sup> @ 15°C	Flash Point °C	Viscosity mm <sup>2</sup> /s @ 50°C	Water %	Sulphur %
Quantity	Kiloliter	Metric Ton  1回あたり300トン 以上であること		Reaction	
Barge Name					
Sample No.	Marpol	Vessel	Supplier	Laboratory	
I					
II					

We declare that the fuel oil supplied is in conformity with regulation 18.3 of Marpol Annex VI and that the sulphur content of the fuel oil supplied does not exceed:

- ☐ the limit value given by regulation 14.1 of this Annex;
- ☐ the limit value given by regulation 14.4 of this Annex; or
- ☐ the purchaser's specified limit value of \_\_\_\_\_ (% m/m), as completed by the fuel oil supplier's representative and on the basis of the purchaser's notification that the fuel oil is intended to be used:
- .1 in combination with an equivalent means of compliance in accordance with regulation 4 of this Annex; or
  - .2 is subject to a relevant exemption for a ship to conduct trials for sulphur oxides emission reduction and control technology research in accordance with regulation 3.2 of this Annex.

Date \_\_\_\_\_

Captain/Chief Engineer \_\_\_\_\_

(Name)

ABC ENERGY CO.,LTD.(or on behalf of ABC ENERGY CO.,LTD.)

## 2. 各インセンティブ制度の内容・手続き

### (5) バイオ燃料使用船

## 7. 申請方法

・提出時期 入港届と併せてご提出ください。

・申請者 船社または代理店

・申請方法 NACCS経由またはFAX等にてご提出ください。

FAX等で申請の場合は、下記記載例をご参照のうえ、横浜港埠頭株式会社南部管理事務所 (045-621-9048) までお願いします。

NACCS理由コード

1YH42：横浜港に入港した船舶が横浜港において混合比率24%以上のバイオ燃料混合油を300トン以上補油したとき

第3号様式（第7条第1項）

入港料減免申請書

年 月 日

横浜市長

住所又は所在地  
氏名又は名称  
(法人の場合は、名称・代表者氏名)  
連絡先

申請者

次のとおり入港料の減免を申請します。

【外航・内航】

申請者コード	〇〇〇〇-〇	
港湾名	横浜港	
入港日	年 月 日	
船名・信号符字等	船名	信号符字
総トン数	総トン数（換算トン取得済みの場合は換算トンも記載）	
入港料の額		
減免を受けようとする額		
減免を受けようとする理由		
備考		

(A4)

➤ 入港料減免申請書のダウンロードURL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kowan/business-support/application.html>

トップページ>事業者向け情報>分野別メニュー>港湾>ビジネスサポート情報一覧>申請書（第3号様式）

➤ 申請書の「減免を受けようとする理由」欄について

横浜港では、入港料減免申請書の「減免を受けようとする理由」欄には、次のリンク先の「減免する事由」欄の文章を転記してください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kowan/business-support/shiyoryo/incentive.html>

トップページ>事業者向け情報>分野別メニュー>港湾>ビジネスサポート情報一覧>港湾の使用料>港湾施設使用料等のインセンティブ

※申請書以外の必要書類につきましても、FAX等により横浜港埠頭株式会社南部管理事務所（045-621-9048）宛にご提出ください。

### 3. 参考資料

#### (1) NACCSによる減免申請の流れ

#### 手順1 申請メインメニューから入港料減免・還付申請 (WER)を選択

WebNACCS 各種申請 確認/照会 機能 設定 汎用申請関連業務へ NACCS 掲示板

①ブラウザの戻る・更新・進むボタンは使用しないでください。

各種申請

船舶基本情報等事前登録 (WBX)	外航 (運航情報使用)	外航
船舶基本情報登録 (登録 訂正/削除)	入港前統一申請 (WPT) (登録 訂正/取消)	入港前統一申請 (WPT) (登録 訂正/取消)
船舶運航情報登録 (登録 訂正/削除)	入港届等 (WIT) (登録 訂正/取消)	入港届等 (WIT) (登録 訂正/取消)
乗組員情報登録 (登録 訂正/削除)	出港届等 (WOT) (登録 訂正/取消)	移動届等 (WMR) (登録 訂正/取消)
旅客情報登録 (登録 訂正/削除)		出港届等 (WOT) (登録 訂正/取消)
船用品情報登録 (登録 訂正/削除)		

内航	港湾管理者業務	ファイル申請 (WFT)
船舶基本情報登録 (WBX) (登録 訂正/削除)	<b>入港料減免・還付申請 (WER) (登録 訂正/取消)</b>	申請書類へのファイル添付
入港前統一申請 (WPT) (登録 訂正/取消)	船舶運航動静通知 (WMT) (登録 訂正/取消)	登録・ファイル添付
入港届等 (WIT) (登録 訂正/取消)	海側施設使用許可申請 (WST) (登録 訂正/取消)	訂正/取消
移動届等 (WMR) (登録 訂正/取消)	陸側施設使用許可申請 (WLT) (登録 訂正/取消)	
出港届等 (WOT) (登録 訂正/取消)		

とん税等納付申告 (WPC) 不開港出入許可申請 (WCP) 船舶資格変更届 (WKC/WKS)

#### 手順2 入港料減免申請書を選択し送信

WebNACCS 各種申請 確認/照会 機能 設定 汎用申請関連業務へ NACCS 掲示板

入港料減免・還付申請 (WER)

入港料減免・還付申請 新規登録 申請書類一覧 入力ガイド

[編集]ボタンから書類を作成してください。書類作成後、[送信]をクリックしてください。[エラーチェック]をクリックすることで、エラーの有無を確認できます。

呼出/読込メニュー 申請等呼出 ファイル読込

提出先	宛先	選択	書類名
港湾管理者		<input checked="" type="checkbox"/>	入港料減免申請書 (編集)
		<input type="checkbox"/>	入港料還付申請書 (編集)

< 戻る エラーチェック **送信** >

### 3. 参考資料

#### (1) NACCSによる減免申請の流れ

### 手順3 項目を入力

WebNACCS

各種申請

確認/照会

機能

設定

汎用申請関連業務へ

NACCS 掲示板

入港料減免・還付申請 (WER)

入港料減免申請書 新規登録

入力ガイド

登録に必要な項目を入力し、[この書類を一時保存]をクリックしてください。一時保存情報の保存期間は10日間（土日祝含む）です。  
[エラーチェック]をクリックすることで、エラーの有無を確認できます。

1. 宛先情報

宛先 **必須** 横浜港港湾管理者

2. 船舶情報

船舶コード種別 **必須** ☐ コールサイン ☐ 船舶番号 船舶コード **必須**

船舶名称 (J) **必須**

総トン数 **必須**  t 課金対象トン数 **必須**  t

船舶運航者コード種別

船舶運航者コード

船舶運航者名称 (J)

住所 (J)

内航・外航種別 **必須** ☒ 外航 ☐ 内航

3. 入港情報

入港コード **必須** JPYOK  YOKOHAMA - KANAGAWA

入港日 **必須**

入港停泊場所施設コード **必須**

入港停泊場所施設名称 (J)

4. 減免情報

入港料の額  円 減免を受けようとする額  円

減免を受けようとする理由コード **必須**

減免を受けようとする理由 (J)

5. 申請者担当

申請者担当者名 (J) **必須**

電話番号 **必須**

備考 (J)

「入港料の額」  
「減免を受けようとする額」  
は必ず入力してください。

P.26「NACCS減免申請における入港料減免理由コード」  
をご覧ください。

「減免を受けようとする理由  
欄」に当該減免コードの減免  
項目名称が反映されます。



### 3. 参考資料

#### (1) NACCSによる減免申請の流れ

手順4 エラーチェックボタンを押してエラーをチェックする

手順5 この書類を一時保存ボタンを押す

WebNACCS 各種申請 確認/照会 機能 設定 汎用申請関連業務へ 入 入港料減免申請書 新規登録 NACCS 掲示板

入港料減免申請書 (WER)

申請メニュー

登録に必要な項目を入力し、[この書類を一時保存]をクリックしてください。一時保存情報の保存期間は10日間 (土日祝含む) です。  
[エラーチェック]をクリックすることで、エラーの有無を確認できます。

✓ エラーはありません。

一時保存番号 SV263088173

1. 宛先情報

宛先 必須 接続試験港湾管理者

2. 船舶情報

船舶コード種別 必須 ☒ コールサイン ☐ 船舶番号 船舶コード 必須 1111111

船舶名称 (J) 必須 a

総トン数 必須 1 t 課金対象トン数 必須 1 t

船舶運航者コード種別

戻る エラーチェック この書類を一時保存

手順6 保存する

WebNACCS 各種申請 確認/照会 機能 設定 汎用申請関連業務へ 入 入港料減免申請書 新規登録 NACCS 掲示板

申請メニュー

登録に必要な項目を入力し、[この書類を一時保存]をクリックしてください。一時保存情報の保存期間は10日間 (土日祝含む) です。  
[エラーチェック]をクリックすることで、エラーの有無を確認できます。

✓ 一時保存が完了しました。

一時保存番号 SV263088173

1. 宛先情報

宛先 必須 接続試験港湾管理者

2. 船舶情報

船舶コード種別 必須 ☒ コールサイン ☐ 船舶番号 船舶コード 必須 1111111

船舶名称 (J) 必須 a

総トン数 必須 1 t 課金対象トン数 必須 1 t

船舶運航者コード種別

船舶運航者コード

戻る エラーチェック この書類を一時保存

確認

ページを移動すると、編集中の内容は破棄されます。  
編集内容を保存しますか?

保存する 保存しない キャンセル

### 3. 参考資料

#### (1) NACCSによる減免申請の流れ

#### 手順7 入港料減免申請書に☑を入れ送信ボタンを押す

The screenshot shows the '入港料減免・還付申請 (WER)' page in the WebNACCS system. The page has a top navigation bar with '各種申請', '確認/照会', '機能', '設定', and '汎用申請関連業務へ'. A 'NACCS 掲示板' button is on the right. The main content area includes a sidebar with '申請メニュー', a title bar with '入港料減免・還付申請 新規登録 申請書類一覧' and an '入力ガイド' button, and a message: '[編集]ボタンから書類を作成してください。書類作成後、[送信]をクリックしてください。[エラーチェック]をクリックすることで、エラーの有無を確認できます。'. Below this is a '一時保存番号' field with the value 'SV263088173'. A table lists application types:

提出先	宛先	選択	書類名	保存済	編集
港湾管理者	接続試験港湾管理者 (KWMLIT46)	<input checked="" type="checkbox"/>	入港料減免申請書		<a href="#">編集</a>
		<input type="checkbox"/>	入港料還付申請書		<a href="#">編集</a>

At the bottom, there are three buttons: '戻る', 'エラーチェック', and '送信' (highlighted with a red box).

#### 手順8 送信完了画面

The screenshot shows the '送信完了' (Submission Complete) screen in the WebNACCS system. The top navigation bar is identical to the previous screen. The main content area has a message: '送信しました。' with a checkmark icon, and '届出/申請番号 : 08595875100'. Below this is a large red-bordered box containing the following text:

以上で、NACCSによる申請は完了です。  
その他の必要書類につきましては、FAX等により  
横浜港埠頭株式会社南部管理事務所  
(045-621-9048) にご提出ください。

At the bottom, there is a button labeled 'メインメニューに戻る'.

### 3. 参考資料

## (2) NACCS減免申請における入港料減免理由コード一覧

令和7年12月25日更新

#### 入港料減免理由コード一覧

【環境減免の該当がない場合はこちらのコードになります。】			【環境減免に該当する場合はこちらのコードになります。】			備考
理由コード	減免額	理由	理由コード	減免額	理由	
	—	—	1YH33	15%相当額	環境配慮船が入港したとき	
	—	—	1YH39	全額	LNGを供給する船舶が横浜港に入港したとき	
	—	—	1YH40	全額	LNGを燃料とする船舶が横浜港に入港したとき	
	—	—	1YH41	全額	メタノールを燃料とする船舶が横浜港に入港したとき	令和8年1月1日から適用
	—	—	1YH42	全額	横浜港に入港した船舶が横浜港において混合比率24%以上のバイオ燃料混合油を300トン以上補油したとき	令和8年1月1日から適用
1YH03	50,000総トン相当額を超える額	50,000総トン数以上のコンテナ船が入港した時	1YH23	左の額に加えて15%相当額	環境配慮船である50,000総トン数以上のコンテナ船が入港した時	
1YH04	全額	新規定期航路を開港したとき			—	
1YH06	全額	試運転のため出港した船舶が、他港に入港すること無く再入港したとき			—	
1YH08	30%相当額	1回の入港につき1,000個以上1,500個未満のコンテナ貨物を取り扱ったとき	1YH24	左の額に加えて15%相当額	環境配慮船かつ、1回の入港につき1,000個以上1,500個未満のコンテナ貨物を取り扱ったとき	
1YH09	50%相当額	1回の入港につき1,500個以上のコンテナ貨物を取り扱ったとき	1YH25	左の額に加えて15%相当額	環境配慮船かつ、1回の入港につき1,500個以上のコンテナ貨物を取り扱ったとき	
1YH38	全額	横浜を船籍港とする客船が入港したとき			—	
1YH15	全額	客船が市民クルーズを実施したとき			—	
1YH16	全額	客船が着岸中に船内見学会を実施したとき			—	
1YH17	全額	コンテナ貨物の輸送に供しているはしけ及びブッシェーボート等が横浜港に入港したとき			—	
1YH18	1/2相当額	コンテナ船が東京港又は川崎港と横浜港とに連続して入港したとき	1YH28	左の額に加えて15%相当額	環境配慮船であるコンテナ船が東京港又は川崎港と横浜港とに連続して入港したとき	
1YH19	2/3相当額	コンテナ船が東京港、川崎港及び横浜港に連続して入港したとき	1YH30	左の額に加えて15%相当額	環境配慮船であるコンテナ船が東京港、川崎港及び横浜港に連続して入港したとき	
1YH20	全額	内航コンテナ船舶が入港したとき			—	
1YH21	全額	コンテナ船が東京港又は川崎港と横浜港とに連続して2回入港したとき			—	
1YH22	全額	コンテナ船が東京港、川崎港及び横浜港に連続して2回入港したとき			—	
1YH32	全額	市長又は京浜港長の発する避難勧告に従って出港した船舶が、他港に入港することなく再入港したとき			—	
1YH35	—	その他市長が特に認めたとき			—	

2026.1.1～ 下記の減免コードが選択可能です。

1YH41	メタノールを燃料とする船舶が横浜港に入港したとき
1YH42	横浜港に入港した船舶が横浜港において混合比率24%以上のバイオ燃料混合油を300トン以上補油したとき

## 4. お問い合わせ先

[制度に関して]

横浜市 港湾局 政策調整課

TEL 045-671-7165

[手続に関して]

横浜港埠頭株式会社 南部管理事務所

TEL 045-621-9777

[NACCSシステム操作に関して]

輸出入・港湾関連情報処理センター(株) ヘルプデスク

TEL 0120-794-550

